

この時計は、EL(=エレクトロルミネッセンス)を用いた発光方式により暗闇の中でも表示全体を均一に光らせることで、表示内容を確認することができます。(パネライト機能)アラーム音とパネライトの点滅でセットした時刻を知らせるデイリーアラーム機能を搭載し、ストップウオッチは8ラップまでメモリー(ラップ)ができ、2種類(プリセット/フリー)のタイマーを持ち、2つの機能は「確認音」と「オートパネライト」がセットされていると「音とパネライト」で知らせるスポーツ用デジタルウオッチです。また、エアーブロテクションの装着により腕にフィットします。

ガレンター機能 (年)(月、日、曜)時、分を表示します。(年は時刻合わせの時のみ表示します。) 1995年1月1日から2044年12月31日までの50年間、うるう年などの月末修正がいらない 「フルオートカレンダー」です。

2.ストップウオッチ機能

・1/100秒単位で計測できる10時間計です。 ・最初の8区間のラップについて記憶することができます。 報時音がセットされていると1分ごとにブザー音でお知らせします。

プロス まま ・ ストップウオッチ機能で記憶した8ラップについてラップ回数、ラップタイムを表示することができます。

イスル ・設定した時刻(時、分)に毎日アラーム音とパネライトの点滅で知らせるデイリーアラーム ・アラームのセット / 解除 (on/--) を切り替えることができます。

・オートパネライトが設定されているときは、各モードで機能するボタンの操作(例:時刻・カレンダーのモードのときは、報時音・操作確認音のセットと解除するボタンC)後に、約2秒間パネライトが点灯します。(時刻修正・時間セットするときは除く。)

オートバネライトをONすることによりストップウオッチでは、スタートから19分まで1分 ごとにパネライトが点灯します。タイマーでは、リピート回数10回以下のタイムアップ前19 分間のみ1分ごとにパネライトが点灯します。

8.内部照明(全面パネライト)機能」 ・専用ボタン操作により、どのモードでも1回押して約3秒間点灯します。 ・物質に電圧をかけると光を放す現象(エレクトロルミネッセンス = EL)を利用した発光方式 を採用しています。 エレクトロルミネッセンスの発光体は、発光時間の経過と共に徐々に輝度が減衰する特性を持っています。〔詳

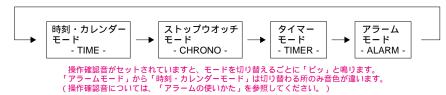
しくは、"エレクトロルミネッセンスパネル(内部照明)について"の項をご参照ください。 パネライト機能を使用して液晶部を光らせたときに、音がしますが、これは液晶部を発光させる部品が出す音であり、不良品ではございません。

ボタンの名称と表示の切り替え

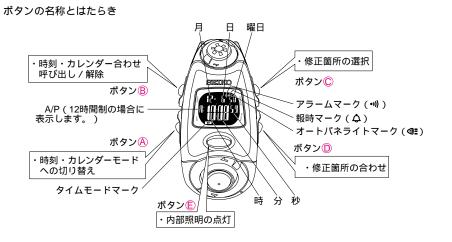
例:時刻・カレンダー表示



ボタン A を押すごとに、つぎの順序で切り替わります。



時刻・カレンダーの合わせかた



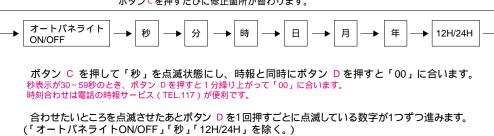
例:AM10時08分59秒

ボタン A を押して「時刻・カレンダーモード」状態にしてください。

ボタン Bを2~3秒間押し続けるとオートパネライト表示が点滅し「オートパネライトの選択」状 態になります。ボタン Dを押すとON(セット)とOFF(解除)が繰り返し表示し選択できます。

ボタン Cを1回押すごとに次の順序で合わせたいところ(点滅部)を選ぶことができます。

ボタンCを押すたびに修正箇所が替わります。



て「時刻・カレンダーモード」にもどしてください。押し忘れた場 合でも2~3分後には「時刻・カレンダー表示」へ自動的にもどり

「時刻・カレンダー合わせ」が終りましたら、ボタン B を 1 回押し

る。 カレンダーは1995年から2044年までの年・月・日・曜がプログラムされていますの で、この間月の大小や、うるう年でも修正する必要はありません。 報時機能については、「アラームの使いかた」を参照してください。 時刻修正の途中で「全点灯表示」になるのは、故障ではありません。ボタン C とボタン D が同時に押された状態です。その場合は、 A B C D E いずれか 1 つのボタンを押して、「時刻・カレンダーモード」にもどしてください。つぎにあらためて、上記の から合わせ直してください。



製品仕様

1.水晶振動数	: 32,768Hz (Hz = 1 秒間の振動数)
2 . 精度	:平均月差±20秒(気温5 ~35
	において腕につけた場合)
3 . 作動温度範囲	: -10 ~ +50

4. 使用温度範囲 : -10 ~ +50

(1)時刻・カレンダーモード タイムモードマーク 月、日、曜日、A/P(12時間制のとき表示)

(アラーム・報時・オートパネライトマーク) (2)ストップウオッチモード

゚ストップウオッチモードマーク 時刻 時・分・秒)A/P(12時間制のとき表示) 10時間計(時、分、秒、1/100秒) ラップ回数、LAP表示、RECALL(RECALLのとき表 (アラーム・報時・オートパネライトマーク)

(3)タイマーモード タイマーモードマーク 10時間計(時、分、秒) (アラーム・報時・オートパネライトマーク)

(4)アラームモード アラームモードマーク 時刻(時・分・秒)A/P(12時間制のとき表示) アラームセット時刻(時、分) A/P(12時間制の とき表示) on/-(セット/解除)

(アラーム・報時・オートパネライトマーク) : FE型ネマチック液晶 表示体 : 小型リチウム電池 SB-T14 . 使用電池 1個(CR-2025) . 電池寿命 電池寿命切れ予告機能付

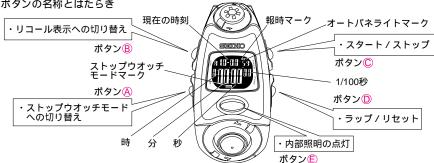
: C-MOS-LSI 1個 バイボーラIC 1個 10.電子回路 上記の製品仕様は改良のため予告なく、変更する ことがあります。

ストップウオッチの使いかた

・1/100秒単位、10時間計です。

・最大計測時間は、9時間59分99秒です。 ・ラップ回数は、99回まで表示します。以降は100(表示:00) 101(表示:01)と表示します。

・報時音がセットされていると1分ごとにブザー音でお知らせします。 ・報時音とオートパネライトがセットされているとスタートから19分まで1分ごとにブザー音とパ ネライトが点灯しお知らせします。(オートパネライトのセットについては「時刻・カレンダー の合せかた」を参照してください。) ボタンの名称とはたらき



・ボタン A を押して「ストップウオッチモード」にしてください。 普通の使いかた

例:100メートル競走(ボタンを押す順序:◎ ◎ 〔ゴール〕 ストップ リセット n 10:08 🥞 a 10:09 \$a

(00秒に戻ります)

例:20分00秒00

時間計測を積算でおこなう場合 例:バスケットボール (ボタンを押す順序: © © ©... © D)

── リセット

例:1分50秒45 途中のストップ・再スタートは、何回でも繰り返すことができます。

ラップ計測をおこなう場合

計測中ラップ回数は、「99」まで表示し「1」~「8」区間のラップタイムを自動的にメモリー(記憶)しています。

例:10,000メートル競走(ボタンを押す順序: 〇 〇 〇... 〇 〇 〇 〇) (1,000m区間) (2,000m区間) (10,000m)



ラップ計測後、約10秒間放置しますと自動的にストップウオッチ計測表示にもどります。 途中のラップは、何回でもくり返すことができます。ラップ回数は、99回まで表示します。 以降は100(表示:00)、101(表示:01)と順次表示します。 「ラップ」を1回以上取った後の「ストップ」は、「ラップ」として数えます。

計測中に他の表示 (モード)に切り替えても正常に作動していますが、計測していない場合は電池 寿命が短くなりますので作動を停止させてください。

リコール (呼び出し)の使いかた ・計測途中、リセット状態のどちらでもメモリーの呼び出しはできます。

・計測後リセットしても新しく計測しない限り、メモリーは削除されません このストップウオッチは、最初の〔1〕~〔8〕区間までのラップタイムを自動的にメモリー(記憶) しています。メモリーしているラップタイムのリコール(呼び出し)は、次の順序でおこないます。 〔計測を終了してからリコールする場合〕

最初の〔1〕区間のラップタイムを表示します。 例:8区間以上の計測をしている場合はボタン Dを押すごとに、次の区間を順に表示します。

[1] [2] [3] · · · [6] [7] [8]

[計測中にリコールする場合] ・ボタンBを押してリコール表示にします。

最新区間のラップタイムを表示します。 8区間以上を計測している場合は、〔8〕区間を表示します。

ボタンBを押してリコール表示にします。

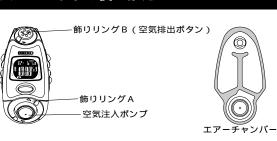
例:最新区間が〔8〕の場合はボタン ①を押すごとに、次の区間を順に表示します。 [8] [1] [2] · · · [5] [6] [7]

計測した区間が8未満の場合は、その最大の区間まで表示します。 例:リコール(呼び出し)状態(計測終了後)



エアーチャンパーユニットの使いかた

各部の名称とはたらき



装着のしかた ・手首に時計を装着したら、 6 時側の空気注入ポンプを押してお好みに応じて、エアーチャンバーに空気を入れてくださ

チャンパーは空気注入ポンプを約10回押しますといっぱいになります。 ら10回空気注入ポンプを押したときにお好みのしまり具合になるように、パンドの長さを調整してください。 入れすぎて手首が締め付けられるようなときには一度空気を抜き、再度空気を入れ直してください。 ≦気を入れすぎて手首が締め付けられるようなときには一度空気を ・空気を抜くときは、空気排出ボタンを押してください。

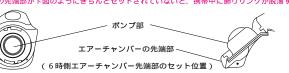
エアーチャンパーの取り外し・取り付けかたについて エアーチャンパーのお手入れ、及び交換の際の取り外し・取り付けのときは、必ずエアーを抜いてからおこなってください。 飾りリングの突起部をLOCKの位置(凸)に合わせないと脱落する危険があります。 .12時側の飾りリングの取り外し・取り付けかた 2.6時側飾りリングの取り外し・取り付けかた ・取り外しかた
 ・節リリング突起部を矢印の 方向に回しOPENの位置 (凹)に合わせて取り外し てください。
 ・取り付けかた 飾りリング突起部をOPENの が前に回しOPENの位置 (凹)に合わせて矢印の 反対方向に回しLOCKの位置 置(凸)に合わせて取り外し でください。
 ・取り付けかた 飾りリング突起部をOPENの が前に回しOPENの位置 (凹)に合わせて取り外し でください。
 ・取り付けかた 飾りリング突起部をOPENの 位置(凹)に合わせて矢印の についた合わせて取り外し でください。
 ・取り付けかた 飾りリング突起部をOPENの 位置(凹)に合わせて矢印の についた合わせて取り外し でください。
 ・取り付けかた 飾りリング突起部をOPENの についた合わせて取り外し でください。
 ・取り付けかた ・ についての位置(凹)に合わせて矢印の についた合わせて取りかし でください。
 ・取り付けかた ・ についての位置(凹)に合わせて矢印の を対方向につりいの値置(凸)に合わせてください。
 ・まで回しLOCKの位置(凸)に ください。
 ・おりりとの位置(凹)に合わせて、いるがである まで回しLOCKの位置(凸)に 合わせて固定してください。

OPEN位置(凹) LOCK位置(凸) 6時側飾りリング〜 ╱突起部 < 突起部-OPEN位置(凹) LOCK位置(凸)

.エアーチャンバーの取り外し・取り付けかた 取り外しかた 6 時側のポンプ部を指でつぶしながらケース穴(斜線部分) 12時側の空気排出部を反時計方向に90度回転させケース を通して抜いてください。 のカギ穴部に空気排出部を合わせてください。



取り付けかた
 12時側の空気排出部をケースのカギ穴部に合わせて時計 方向に90度回転させてください。
 6時側エアーチャンバーの先端部が下図のようにきちんとセットされていないと、携帯中に飾りリングが脱落する危険があります。



取扱注意事項 取扱注意事項
・水中でポンプの操作をすると空気注入ポンプから水が入るため、水中でのポンプ作動はしないでください。もしも水が入ってしまったらポンプ部の水を抜いてください。一度空気を入れ、注入ポンプと空気排出ポタンを下に向けながら、空気排出ポタンを押してエアーを出すと水が少しずつ出ますので数回繰り返してください。
・使用しないときは、空気を抜いてください。空気が入っておりますと布が伸びて形状が変化します。
・節リリングのプラスチック部(空気排出ポタン)と空気注入ポンプは、商品の特性上汚れが付きやすい特性をもっていますので ・即りリングのプラステック部(呈丸排口がダン)と呈丸注入がプラは、同品の特性上汚れが付きやすい特性をもっていますので、ご注意ください。 ・汚れが付いた状態で長時間放置しておきますと、材質の特性上、汚れが染み込み、落ちにくくなります。 ・水性の汚れには、プラスチック消しゴムや石けん水での拭き取りをおすすめします。 ・油性の汚れなど、原因によっては汚れが落ちないものがあります。また、煙草の煙で黄ばみが生ずる場合がありますので、ご 注意ください。

タイマーの使いかた ・タイマーは3分、5分、10分、15分の4つのプリセットタイマーと1分から9時間59分までの1分 単位でセット可能なフリータイマーがあります。 タイマーは、リピート(繰り返す)機能付のためストップさせないと繰り返し作動しますので使い終わったら必ず止め 報時音がセットされていると1分ごとにブザー音でお知らせします。 ・報時音とオートパネライトがセットされていると、リピート回数10回以下のタイムアップ前19分間 のみ1分ごとにブザー音とパネライトが点灯し、お知らせします。 ボタンの名称とはたらき 修正 (フリータイマー) ・スタート/ストップ |・修正箇所の選択(フリータイマー) の呼び出し/解除 ボタンB - タイマーのセット時間(3分) タイマーモー マーク タイマーのリピート(繰り返した回数)回数 ボタン① ボタン<mark>A</mark> ・タイマーモード ・タイマー時間の選択(プリセットタイマー) への切り替え ・修正箇所の合わせ(フリータイマー) ・プリセットタイマー:あらかじめタイマー時間が 設定されているタイマー。 ・ボタン A を押して「タイマーモード」にしてください。 3分 → 5分 → 10分 プリセットタイマーの使いかた -- フリー ← 15分 ボタン ${\mathsf D}$ を押すごとに次のようにタイマー時間が換わります。 例:タイマー時間 10分(ボタンを押す順序: 〇 〇 〇... 〇 〇) スタート ──→ ストップ ──→ 再スタート ──→ ストップ ──→ リセット リピート回数 アップ音を止めたいときは、´@、®´、©、®、、E、いずれか1つのボタンを押してください。 ト回数は、99回まで表示します。以降は100(表示:00)、101(表示:01)と順次表示します。 フリータイマーの合わせかた ・フリータイマーは、1分から9時間59分までの1分単位で合わせることができます。 例:1時間25分にセットする場合 ボタン<mark>C</mark>を押しま すと、押すたびに ボタンD を押して、 フリータイマー表 ボタン Bを 2 ~ 3 セットが終わりま したらボタン B を 押して「タイマーモ 秒間押し続けると を占滅させたらボ 示にします。 「時」が点滅表示し タン D を1回押 に点滅表示します。 修正する箇所を選 「合わせ状態」にな すごとに点滅して いる数字が1つず 押し忘れた場合で 択してください。 つ進みます。 も 2 ~ 3 分後には 「タイマーモード」 へ自動的にもどり ; 25 篇 **: 15 ∭** [



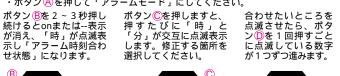
と、早送りできます。

アラームの使いかた

・アラーム音とパネライトの点滅で知らせるデイリーアラーム付きです。

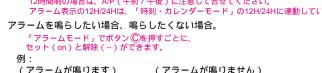


·ボタンAを押して「アラームモード」にしてください。





ボタン①を押し続けると、早送りできます。 12時間制の場合は、A/P (午前 / 午後) に注意して合せてください。





と報時並びに操作確認音のセットと解除をする場合。 M「エンレーはドードはBOB コン・ピント こかけんとす。シッカー。 「時刻・カレンダーモード」でボタン©と押すごとに、報時・操作確認音のセットと 解除ができます。また、ボタン©と®を同時に押し続けると「アラーム音の試し聴き」



報時マークを「点灯」した状態では毎正時の報時と操作確認音が鳴り、 「消灯」した状態では報時と操作確認音は鳴りません。



セットが終りましたらボタン®を押して「アラームモード」にもどしてください。 アラームマーグとセット(

ON)マークが点灯します。 押し忘れた場合でも2~3

へ自動的にもどります。

アラームセットマーク点灯